

本の修理・相談コーナー

壊れた本、どうしよう！？  
捨てちゃう？  
それとも治す？

日頃から、壊れた本は図書館の悩みの種ですが、東日本大震災では、落下により多くの本が壊れました。

そこで、道具や材料、壊れ方の特徴、治し方を広く知っていただくため、本の修理・相談コーナーを設けました。

＜修理相談窓口＞

実際に壊れてしまった本をお持ちいただき、簡単な修理のヒントをご案内しました。

＜道具・材料の紹介＞

修理に使用する主な道具・材料を展示しました。特に使用頻度の高い物は以下の通りです。

《道具》

筆（こしのある平筆）、カッターナイフ、定規（金型 30cm）、目打、締め板、重し（5kg、漬物石等）、樫矢（目打たたき棒）、製本針

《材料》

和紙（極薄・薄・中厚・厚 4 種類）、でんぷん糊、混合糊（でんぷん糊 2：白ボンド 1）、白ボンド、麻糸

＜修理体験＞

和紙と糊を使った修理の利点、糊の塗り方や和紙の貼り方をご案内し、ページ破れの修理を体験していただきました。



＜落下により壊れた本の特徴＆修理＞

東日本大震災で、落下により壊れた本の特徴や修理方法について、説明パネルとともに、修理した本を展示しました。

